



スタイリッシュな空間

高原の歴史文化を感じる “幾何書店・西寧旗艦店”

チベット高原（平均海拔 4,000m）にある青海省西寧市発祥の「幾何書店」は、全国各市で展開する「人文科学」と「創造力」を融合させた大型複合書店、中国最大の独立系書店として知られています。西寧旗艦店は面積 10,000 m²を超え、蔵書数 15 万種類、45 万冊（国内最大）あり、カフェ、手工芸エリア、展示場、絵画エリアを付設しています。地域に根差した書籍と文化の融合拠点としてホットスポットになっています。



特集

日中共通の喫緊の課題 高齢者に対する養老介護

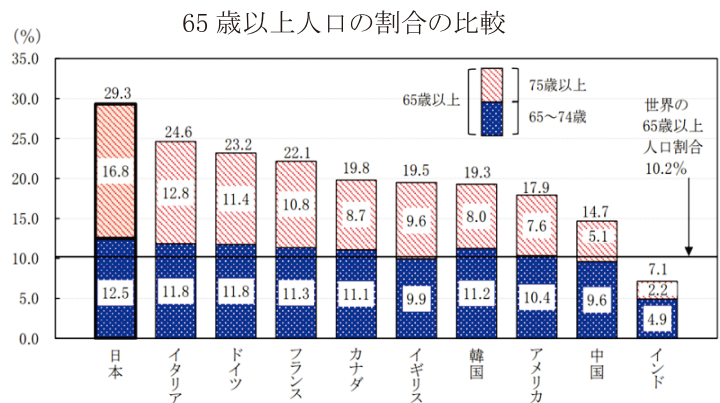
静岡県・浙江省共に関心が高い介護分野

- ◎ ウォッチング 中国の今・・・「ネットショッピング」買い物好きを刺激
- ◎ 駐在生活からみえる「今日のランチ」 静岡県上海事務所 石川祐介所長
- ◎ 中国啤酒物語 -VOL2-
- ◎ 呉昌碩の世界 詩・書・画・篆刻の巨匠

日中共通の喫緊の課題 高齢者に対する養老介護

全人口に対して 65 歳以上の人口の割合が 7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」と呼ばれます。日本は「超高齢社会」に入り、中国も「高齢社会」に入りました。両国とも急速に増える気回にあり、喫緊の課題となっています。

日本の総人口(2024 年9月 15 日現在)は、前年に比べ 59 万人減少している一方、65 歳以上人口は、3625 万人と、前年(3623 万人)に比べ 2 万人増加、総人口に占める割合も 29.3%と、前年(29.1%)に比べ 0.2 ポイント上昇し、過去最高となっています。この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期(1971 年～1974 年)に生まれた世代が 65 歳以上となる 2040 年には 34.8%、2045 年には 36.3%になると見込まれています。



※総務省統計トピックス No.142 統計からみた我が国の高齢者より抜粋

一方、中国でも高齢化が一段と進んでいます。中国民政省が 8 月 30 日に発表した 2023 年版の統計公報によると、2023 年末時点の 60 歳以上の人口は 2 億 9697 万人に達し、総人口に占める比率は 21.1%、1 年前より 1.3 ポイント上昇しています。また、65 歳以上の人口は 2 億 1676 万人、総人口に占める比率は 1 年前より 0.5 ポイント高い 15.4%を記録しています。人口の多い中国では、その特徴として、**高齢者の人口規模が大きく、高齢化のスピードも速い**とされます。中国では、今後高齢者が増えることによる負担増から、今年、法令退職年齢を男性は 60 歳から 65 歳へ、女性は 50 歳または 55 歳から 55 歳または 58 歳へ引上げることを決めました。

中国政府は、こうした現状を踏まえ、高齢化対策として、今後 3 つの体制整備に重点的に取り組むとしています。

○社会保障体制(財源の確保)

○高齢者向けサービス体制(サービスを提供する主体やサービス内容の整理)

○高齢者向け健康サポート体制(医療やリハビリサービスの整備)

また、高齢者向けサービスは民政部門の重要な職責とし、今後も継続的に①在宅サービス、②社区(コミュニティ)サービス、③施設サービスの調和が取れた発展を図るとしました。

○バリアフリーの対応、見守りサービス、食事介助、介護施設による在宅サービスなどの促進。

○都市部と農村部の地域密着型の高齢者ケアサービス拠点(レクリエーション施設や食堂など)の社区(コミュニティ)サービスの拡充。

○低所得層など政府がケアすべき高齢者向け施設サービスを充実させると同時に、幅広い高齢者に寄与する低価格高品質のサービスと関連施設を大きく発展させ、かつ、社会資本の導入を通じて、高齢者の多様なニーズに応えられる施設サービス。

浙江省も高齢化対策に取り組む

浙江省の常住人口の内、60 歳以上の人口は約 1,329 万人、20.2%を占め、その内、65 歳以上の常住高齢者数は約 981 万人で、14.9%を占めています。2022 年から 2034 年には、浙江省の高齢化が急速に進行、2025 年には、浙江省の 65 歳以上の常住高齢者の人口比率は 20%を超えると予測されています。



省政府は、『**浙江省介護サービス発展「第 14 次 5 年」計画**』を策定し、2025 年までに、省内全ての人が多様化した普遍的な基礎介護サービスの恩恵を受けられるよう進めています。独自の現代化介護サービスシステムの構築、介護サービスと産業の協同発展、モデル地区建

設、デジタル介護の開発等、高齢者介護に独自に積極的に取り組んでいます。

静岡県・浙江省、共に関心が高い介護分野

高齢者介護福祉分野の交流の促進：

友好提携 40 周年（2022 年）に締結された『静岡県・浙江省高齢者介護福祉分野の交流に関する意向書』に基づいて、双方の介護交流プラットフォームとして、当協議会も参画して、この 4 月に「高齢者生き生きライフサポートコンソーシアム」が立ち上げられました。

広宇集団（コスモスグループ）訪日団来静（4 月 14 日～4 月 16 日）

浙江省で高齢者介護福祉事業を展開している広宇集団（コスモスグループ）が来静し、日本の介護施設・リハビリ病院・介護関連企業への訪問交流を通じ、日本の高齢者介護ビジネスへの理解を深めると共に今後の交流の可能性を模索しました。



静岡県介護交流団の派遣（6 月 3 日～6 月 8 日）

「意向書」に基づき本件側のプラットフォームを構築、今後の浙江省との交流について意見交換するために交流会を開催、併せて浙江省の関連施設・大学等を訪問し交流を深めました。

静岡県海外研修員 中国人研修生受入れ（10 月 27 日～2025 年 2 月 28 日）

浙江省派遣の研修員 1 名が 10 月 27 日来日し、4 か月にわたり、県健康福祉部や民間の介護施設で介護行政や施設運営、介護と地域との連携等について研修を行っています。

カーボンニュートラル交流会を開催

10月15日、静岡市内のホテルで、『静岡県・浙江省カーボンニュートラル交流会』が開催されました。

10月15日、浙江省発展改革委員会の章春華副主任を団長とする浙江省綠色技術分野協力交流団8名が来静して、「静岡県・浙江省カーボンニュートラル交流会（主催：静岡県環境資源協会）」に参加し、静岡側、浙江側それぞれがグリーン技術・低炭素(脱炭素化)に向けた政策、取り組みを紹介し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



交流会を通じて、双方はカーボンニュートラルに対する関心の高さが示され、この分野での協力連携の可能性を検討していくことが期待されます。

一行は、来静時に、現在建設中の工事現場・ENEOS・次世代型エネルギーの供給拠点(清水製油所跡地)を視察して、理解を深めました。

せいざんこうふじん 「青山行不尽—中日唐詩ロード芸術展」開催

このほど、中国の文化的遺伝子「唐詩」をコンセプトに、「青山行不尽—中日唐詩ロード芸術展」が静岡グランシップにて開催されました。

中国では、古来、かつてより様々な詩人・文人が、その美しい山水風景を詩歌にしてきました。浙江省を含めて中国各地へ、また日本へ伝播・影響するほど、その「唐詩」は、多様な自然と文化が融合した存在であります。

この度、10月23日から29日、静岡市内のグランシップにおいて「唐詩ロード」をテーマとした芸術展が開催されました。会場には、静岡県書道連盟、東京芸術大学、浙江省文史研究館、中国美術学院など日中80名以上の日中の芸術家により、制作した中国画・油絵・書道・版画・彫刻等の作品100点以上が展示されました。



伝統的手法と現代的感覚を組み合わせた独特な作品に、日中両国で千年以上積み重ねられた悠久の歴史文化と交流の融合の足跡を感じさせました。

ウォッチング 中国の今

「ネットショッピング」、買い物好きを刺激

中国で買い物と言えば、ネットで選んで、電子マネーで支払い、家まで届けてもらう、というのが主流です。昨年 2023 年のネット小売総額は 15 兆 4000 億元を超え、社会消費品小売総額の 27.6%となりました。ネットショッピングは 2008 年ころから急速に拡大してきました。特にアリバグループが 2009 年に始めた毎年の「双 11」(11/11)はネットショップが爆発的に売上高を誇る日となっています。この 11 月 11 日は元々独り者の「1」が続く「独身の日」で、孤独を紛らわせるための「お買い物の日」としてキャンペーンが打たれました。

物流インフラ、配達員・配達ツールが貢献



受け取ったりできるようになりました。

「ネットショッピング」の普及につれて必要となるのが配達員・配達ツールです。配達員「快遞小哥（速達兄貴）」が街の隅々まで行きわたり、注文者のオフィスや家まで商品をお届けようになります。速達兄貴が小型ワゴンや電動バイクに貨物車を引かせる等小回りの利く車に商品を載せ、注文者の近くまで来るとスマホにメッセージを送り、取りに来るように伝えます。最近では、住宅ビルの敷地などにスマートロッカーが設置され、スマホで QR コードを読み取り商品を預けたり、

「ネットショッピング」、農村部に恩恵

中国各地のネット環境が整備されると共に、農村地域の道路も整備され、通信網・交通網が発達し、ネットを通じて農産物の生産者・農家が育てた作物を直接消費者に販売するのも一般的になってきています。商品の撮影の仕方や商品の説明内容、アナウンスのやり方など専門的に学べる講座もあり、ただネットに載せる、のではなく、儲けるための方法で商品をアピールしています。最近では、一般消費者が口にするものに対しての品質や安全への要求は日に日に高まっていることもあり、日々の農地や作物、農作業の様子を SNS にアップしてファンを作り、顔の見える商法で販売することも増えています。



今後も伸びる有望な業態

中国のネットショッピングは、広い土地を移動することなく、在宅、職場にしながら商品を選ぶことができる便利さだけでなく、ショップ側も消費者のニーズに合わせて、また潜在的ニーズを掘り起こしながら規模を拡大しています。今後もネットショップ業界は消費者を惹きつけるような面白い商品、コンテンツが誕生すると期待されています。



駐在生活から見える 「今日のランチ」

大家好！（皆様こんにちは！）、静岡県上海事務所の石川です。4回シリーズで「今日のランチ」をテーマに、駐在生活からみえる中国の今をお届けします。



静岡国際経済上海事務所
石川祐介所長

中秋節、国慶節の連休が終わり、ようやく上海でも秋の訪れを感じるようになりました。いよいよ「食欲の秋」が到来ということで、今日は上海市内の旅行社を訪問後、外でランチを食べようとスマートフォンを開きます。



大衆点評の画面

現在、中国では『大衆点評（ダージョンディエンピン）』というアプリが世代を問わず人気です。これは日本の『食べログ』のように、サービスの利用者が写真やコメントを投稿して満足度を評価する口コミサイトで、レストラン、ホテル、美容院など生活に関わる施設を何でも探すことができる、現地生活には欠かせないツールです。

今日は麺を食べようと検索すると、アプリに推薦されたのが『沪西老弄館』。ローカルの上海っ子から大人気で、SNSでは上海で最も美味しい麺屋の1つとしても紹介されています。



連動した地図アプリを頼りに、迷わず現地へと到着。週末は30分以上の行列ができる人気店ですが、平日の昼前はすぐに店内へと案内されました。入口で注文して電子マネー（Alipay、WeChat Pay）で会計を済ませると、注文番号のレシートを渡されます。

10分ほどで、注文した看板メニューの蛤蜊猪肝面（ハマグリと豚レバーのラーメン 640円）と炸猪排（薄揚げトンカツ 340円）が運ばれてきました。濃い色の醤油スープは見た目よりもあっさり味で、豚レバーとの相性もバッチリです。サクサクのトンカツもボリュームがありますが、相席の上海っ子の旺盛な食欲に刺激され、あっという間に完食です。

中国の口コミサイトで好評価を得るには、味はもちろん接客サービスも重要な要素です。この数年で、中国の飲食店は格段にサービスが良くなったと言われますが、SNSや口コミサイトが大きな役割を果たしており、10年ぶりに中国を訪れる出張者や旅行者は、その変化に驚くはずです。食後には、店員から次々と「慢走！（お気をつけて！）」と、元気な声で送り出され、「さあ午後頑張ろう！」と事務所へと向かいます。



店先の様子

中国啤酒物語

VOL2



ビールは日本では大手4社がシェアのほとんどを占める、という構図が長い間続いています。中国ではかつてビール生産は小規模生産の地方企業が中心となっていました。しかし、今では日本のように大規模化が進んでいます。



1980年代には財政制度改革により、財政請負制が試行され、地方の財政権限が拡大すると、地方政府は煙草、酒、皮革、紡績のような軽工業の工場建設を推進し始めました。軽工業が必要とする技術や設備は比較的簡単で、投資額の割に効果が早く、エネルギー消費が少なく収益が大きいいため、地方政府への財政寄与率が大きかったことにあります。それによって、地方保護主義と言われる生産が行われました。各省市自治区が自前でビール工場を建設し、醸造から瓶詰まで一貫して行い、地元住民が消費することにより、生産と流通の両面で地方政府が潤う、という構図です。

2004年 中国ビールメーカー生産量TOP10

順位	省市区	企業名	生産量(万トン)
1	山東省	青島啤酒股份有限公司	369.1
2	北京市	華潤啤酒(中国)有限公司	312.8
3	北京市	燕京啤酒集團股份有限公司	285.0
4	黒龍江省	哈爾濱啤酒有限公司	129.9
5	河南省	河南金星啤酒集團有限公司	122.6
6	重慶市	重慶啤酒(集團)有限責任公司	111.6
7	広東省	広州市珠江啤酒集團公司	105.8
8	福建省	福建雪津啤酒集團公司	72.7
9	山東省	德州克代爾集團有限公司	53.1
10	浙江省	金獅啤酒集團有限公司	43.2
総生産量			2910.05

20年前の2004年のビール生産量TOP10を見てみると、全体の生産量が2910万トンであるのに対し、一位の青島啤酒は369万トンでそのシェアは12%程度、TOP10合計も1605万トンで全体の50%ほどです。また、TOP10以下を見ても第26位まで生産量20万から40万トン規模の工場が軒を並べ、各地域に同じような規模の企業が並んでいる状況でした。しかし、次第にビール企業の大規模化が進んでいきます。2023年のTOP5を見てみると、1位は華潤啤酒、全体量が3,555万klに対し、ほぼ30%の生産量を占めています。ビール会社の統合が進み大企業化していることが窺えます。

2023年 ビール企業販売量トップ5

ビール企業	販売量(万KL)	売上(億元)	純利益(億元)
華潤啤酒(控股)有限公司	1,115.1	389.3	51.53
バドワイザーAPAC	927.67	493.59 (68.56億ドル)	61.34 (8.52億ドル)
青島啤酒股份有限公司	800.7	339.4	42.68
北京燕京啤酒股份有限公司	394.24	142.1	6.45
重慶啤酒股份有限公司	229.75	148.15	13.37

ご しょうせき 吳昌碩の世界

詩・書・画・篆刻の巨匠

日本の文化人や芸術家との親交も深かった吳昌碩(1844－1927)は、詩・書・画・篆刻全てに秀でた才能を持つことから「四絶(四つの芸術で並外れた技量や能力を持つ)」と称賛され、中国近代で最も優れた芸術家として知られています。



石鼓文とは

唐の貞観年間(627年－649年)に現在の陝西省宝鶏市鳳翔区で出土した10基の花崗岩の石碑、現存する中国の石刻文字資料としては最古のもので、北京故宮博物院に所蔵されています。石鼓文は石の形状が胴中に膨らみがあり太鼓に似ていることに由来します。狩猟を描写した詩が刻まれ、戦国時代の秦で作られたとする説が有力です。石鼓は、保存状態が悪く、本来700字以上あったとされていますが、現在では272字しか確認できない。北宋時代に取りられた拓本3通、先鋒本(480字)、中権本(497字)、後勁本(471字)が貴重な文字資料となっていて、いずれも東京の三井文庫に所蔵されています。字体は始皇帝の文字統一以前に用いられた大篆(だいてん)と呼ばれる篆書の古典として重んじられています。

吳昌碩の石鼓文臨書



吳昌碩が石鼓文を習い始めたのは40歳ごろで、きっかけは友人潘瘦羊から採拓したばかりの拓本を贈られたことにあると言われますが、実際に吳昌碩が教科書として使っていたのは北宋の拓本を基に清代の阮元が重刻した「阮氏重撫天一閣本」でした。吳昌碩にとって石鼓文という古代文字は単なる書法習得のための素材であることを越えて、より大きな意味合いをもち、晩年にかけて膨大な石鼓文の臨書作品が残されています。年代によって文字の形態に変化が見られ、初期の作品ほど原跡に近く、年を重ねるにつれて恣意的な要素が加わっていきます。吳昌碩の石鼓文の特徴は、文字が縦長で、縦の筆勢が顕著であり、線質についても側筆を混用して、緩急太細の変化が加えられています。例えば、偏を下げ、旁を上げることで文字に動勢を持たせたりして、字間を整えず書幅の構成を工夫する等、古典から生まれ、新しい表現を目指しました。

発行所：静岡県日中友好協議会 発行人：増井浩二

静岡市葵区追手町44-1(静岡県産経会館1階) TEL:054-255-8111

※「NEWS LETTER」は、当協議会HP(<http://www.japanchina-shizuoka.jp/>)でも閲覧できます。